

## 先行研究とは何か

2015年10月30日

松尾慎

先行研究とは何かで混乱している学生が少なくないと思われます。なるべく簡潔に説明します。

先行研究は、大きく二つに分けられます。1つは、皆さんの研究テーマに関連したこれまでに誰かが行った研究成果です。そして、もう一つは、研究の視点に関する研究成果です。

まず、研究の視点に関する研究成果に関し説明しましょう。例えば、日本語教育における日本語の習得研究を卒論テーマに選んだとします。その場合、そもそも「習得する」とはどういうことなのかという定義が必要になります。日本語能力試験に合格するための項目を習得することを指すのか、他者と良好なコミュニケーションを実現するための日本語能力の習得を指すのか、他にも様々な考え方があり得ると思います。そうしたことに関する過去の研究を挙げ、自分自身の立場を明らかにすることは必要でしょう。

続いて、「皆さんの研究テーマに関連したこれまでに誰かが行った研究成果」に関してです。「外国につながる子どもに対する教育政策」をテーマに選んだとします。例えば、あなたが埼玉県さいたま市における政策をテーマにしたとして、他の研究者が、愛知県豊田市や静岡県浜松市において同じテーマで調査を行い論文を書いているとします。そうであれば、この論文はあなたの論文の先行研究となります。また、「女性ことば」に関するテーマを卒論に取り上げたいとします。だとすれば、他の研究者が似通ったテーマで行った研究の成果は先行研究になるでしょう。

論文というのは、これまで論じられていないことを書かなければなりません。どんな小さいことでもいいので、自分が世界で初めて取り上げたという部分が必要です。先行研究はこれまで世に出たことを記します。だからこそ、皆さんの新しさが理解できるわけです。

それと注意しておきたいのは、本論や調査の分析、考察部分でも先行研究を引用したり、先行研究と比較したりする場合はあるということです。例えば、「女性ことば」の研究をする場合、自分で集めたデータ（ドラマの文字化も含む）が先行研究の結果と同じ場合でも異なる場合でも、それを言及することはあります。また、ヘイトスピーチの現場を観察に行き、その模様を分析、考察する場合に、先行研究で挙げられている集団心理に関する言及やナチの演説スタイルに関する考察などを引いて考察する場合はあります。

その他、「先行研究とは何か」に関してはネットでもチェックできると思います。それと、何よりも理解するためには、模範となる、例となる論文にあたることです。実は、わたしも含めて専門の研究者が15ページ程度で書く論文の中には、章立てとして「先行研究」というのはスペースの都合で、ない場合が多いです。あるものの例としては例えば、以下の論文です（東女にも来てくれた聖心女子大学の岩田一成先生らの論文です）。その他、言語科学専攻の先輩の卒論や大学院（日本語教育分野など）の修士論文などが参考になるかと思います。もちろん、わたしが書いた修士論文や博士論文も参考にしたいならばお見せします。

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/19016/2/jinbun0000501150.pdf>

うまく理解に結びつきますように。

松尾 慎